
2025 年度

早稲田大学大学院文学研究科

博士後期課程 入学試験要項

(国際日本学コースを除く)



早稲田大学
文学学術院
Faculty of Letters,
Arts and Sciences

早稲田大学 文学学術院事務局

〒162-8644 東京都新宿区戸山 1-24-1

E-mail toyama-adm@list.waseda.jp

目次

1. 試験概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P.1	4. 合格者発表・入学手続 ・・・・・・・・・・	P.21
1) 募集コース・人員		1) 合格者発表	
2) 入学時期		2) 入学手続関係書類の送付	
3) 出願資格		3) 入学手続	
4) 出願にあたっての注意事項			
5) 受験・就学上の配慮		5. その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P.22
6) 選考方法		1) 入学金・学費・諸会費	
7) 試験日程		2) 入学金免除	
		3) 入学辞退にともなう学費返還	
2. 出願 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P.3	4) 提携金融機関による学費ローン（入学時）	
1) 出願区分		5) 外国人学生の在留資格	
2) 出願の要件		6) 文学研究科博士後期課程入学後に「教育職員 1 種免許状」の取得を希望される方へ	
3) 志願者情報の登録		7) 大学院博士後期課程研究者養成奨学金制度	
4) 入学検定料の納入		8) 英文学コースにおける要件の緩和	
5) 出願書類の提出		9) キャンパスマップ	
3. 入学試験 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P.14		
1) 受験票および入学試験案内の送付			
2) 選考日程・注意事項			
3) 選考方法			
4) 第 1 次試験会場			
5) 口述試験における Web 会議システム（Zoom）の使用			
6) 受験上の注意			

➤ [所定書式]は、以下 Web サイトの「各種所定書式・資料」からダウンロードしてください。

<https://www.waseda.jp/flas/glas/applicants/admission/>

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| ・ 特定国からの志願者に対する検定料免除措置
制度・申請書 | ・ 研究計画書・論文 表紙 |
| ・ 出願書類提出用ラベル | ・ 留学にかかる経費負担計画書 |
| ・ 入学志願票 | ・ 提出書類返還依頼書 |
| | ・ 履歴書用紙 |

➤ 本要項は、**国際日本学コース以外**を対象にした入学試験要項です。国際日本学コースを志望する場合は、以下の URL から国際日本学コースの入学試験要項を確認してください。

URL : <https://www.waseda.jp/flas/glas/applicants/admission/>

- この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・ウェアラブル端末等の通信機能を持った電子機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。
- 時間の記載はすべて日本時間（JST）です。
- 早稲田大学文学学術院事務所の開室時間は、文学研究科 Web サイトよりご確認ください。
- ・ 2024 年 12 月 26 日～2025 年 1 月 5 日まで、冬季休業期間等につき、閉室となります。その間、お問い合わせに回答することができません。あらかじめご了承ください。

1. 試験概要

1) 募集コース・人員

募集するコース・人員は以下のとおりです。複数コース（国際日本学コースを含む）を併願することはできません。

専攻	コース		募集人員
人文科学	哲学	中国語中国文学	155名 ※各コースの定員は設けておりません。 ※本要項に掲載していない国際日本学コースを含む定員です。
	東洋哲学	演劇映像学	
	心理学	美術史学	
	社会学	日本史学	
	教育学	東洋史学	
	日本語日本文学	西洋史学	
	英文学	考古学	
	フランス語フランス文学	文化人類学	
	ドイツ語ドイツ文学	表象・メディア論	
	ロシア語ロシア文化	中東・イスラーム研究	

2) 入学時期

- ・ 2025年4月1日

3) 出願資格

- ・ 以下のいずれかに該当する者。
 - ① 修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を得た者、または当研究科入学までに取得見込みの者。
 - ② 外国において修士もしくは修士（専門職）の学位またはこれに相当する学位を得た者、または当研究科入学までに取得見込みの者。
 - ③ 文部科学大臣の指定した者。
 - ④ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または当研究科入学までに修得見込みの者
 - ⑤ 当研究科において、個別の入学資格審査により、修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもので、当研究科入学までに24歳に達する者。

4) 出願にあたっての注意事項

- ・ 出願時に本入学試験要項記載の出願資格を満たすために大学院入学資格取得見込の証明書を提出された方は、入学手続き時にその資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない（大学院入学資格を満たすことができない）場合は、入学を認められませんので注意してください。
- ・ 上記の出願資格①は日本の大学院で学位を得た方、または入学までに取得見込みの方を対象としています。海外（日本以外）の大学院で学位を得た方、または入学までに取得見込みの方は②となります。いずれも国籍は問いません。

- 上記の出願資格⑤については、該当するかどうかを個別に審査しますので、2024年10月7日（月）までに文学学術院事務所（toyama-adm@list.waseda.jp）にメールでお問い合わせください。
- 英文学コースに限り、英語力が極めて高く、かつ、当研究科が許可をした場合、要件を緩和します（詳細は **P.23 8**）
「**英文学コースにおける要件の緩和**」を参照）。
- 本大学（学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。）の教員は、本大学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規程上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所事務所を通じて本部にお問い合わせください。

5) 受験・就学上の配慮

- 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、**出願開始日より前に**文学学術院事務所にメールでお問い合わせください。また、不慮の事故や急な発病等が出願後に起こり、受験や就学に支障をきたす恐れがある場合にも、速やかにお知らせください。

6) 選考方法

選考方法は以下のとおりです。

試験	試験内容	備考
第1次試験	書類審査	出願書類による審査
	筆記試験	一般外国語および専門科目
第2次試験	口述試験	第1次試験合格者のみ

7) 試験日程

試験日程は以下のとおりです。**ご自身の出願期間をよく確認し、正しい期間に手続を行ってください。**

- P.1 3) 出願資格** ③、⑤に該当する方の「志願者情報登録期間」「入学検定料納入期間」「出願書類提出期間」「研究計画書・修士論文等提出締切日」は出願資格確認後に個別にお伝えします。

手続内容	日程	備考
志願者情報登録期間	P.1 3) 出願資格 ②、④に該当する方	指定の Web リンク先から登録
入学検定料納入期間	2024年11月7日（木）～11月20日（水）	P.4 4) 入学検定料の納入 を参照
出願書類提出期間 (郵送のみ受付)	P.1 3) 出願資格 ①に該当する方 2024年11月21日（木）～12月4日（水）	P.4 5) 出願書類の提出 を参照
研究計画書・修士論文等提出締切日	P.1 3) 出願資格 ①、②、④で、既卒者 出願書類提出期間の最終日 P.1 3) 出願資格 ①、②、④で、修了見込者 2025年1月7日（火）	P.11 「E」、「F」 を参照
受験票発送予定日	2025年1月20日（月）頃	
第1次試験日	2025年1月26日（日）	
第1次試験合格者発表日	2025年1月28日（火）10:00～	当研究科 Web サイトで発表
第2次試験日	2025年1月30日（木）	Web 会議システム（Zoom）を使用
最終合格者発表日	2025年1月31日（金）10:00～	当研究科 Web サイトで発表

2. 出願

1) 出願区分

- ・ 出願手続は、志願者の居住地によって、「**国内出願**」と「**国外出願**」とに区分されます。
- ・ 以下の定義により自身の出願区分を確認してください。

	国内出願	国外出願
対象	出願時に日本国内に居住し、日本国内から出願書類を提出する者	出願時に日本国外に居住し、日本国外から出願書類を提出する者
区分確認方法	入学志願票に記載された「現住所」から判断します。	

- ・ 居住地の確認のため、居住地を証明できる書類を追加で提出いただく場合があります。

2) 出願の要件

- ・ 指定期間内に「志願者情報の登録」、「入学検定料の納入」、「出願書類の提出」のすべてを行うことで出願が完了します。指定期間は **P.2 7) 試験日程** を参照してください。

3) 志願者情報の登録

(1) 入力

- ・ 志願者は必ず、以下の Web リンク先より、志願者情報登録を行ってください。

[申請フォーム Web リンク](#)

(2) 入力上の注意

- ・ 代理で入力することも可能ですが、必ず志願者本人の情報を入力してください。
- ・ すべて入力後、最下段の「保存」を押してください。その後「申請確認：申請を保存してよろしいですか？」という画面が出ますので、「はい」を押すと確定・送信となります（その後「保存しました」と表示されます）。
- ・ 出願内容に不備や確認事項がある場合、フォームに入力されたメールアドレスに連絡します。
- ・ 最終合格者向けの「入学手続関係書類」は、フォームに入力されたメールアドレスに送付します。
- ・ フォームに入力した情報に誤りがあった場合などは、再度登録し直してください。
 - 指定期間後に転居した場合は再登録できませんので、必ず自身で郵便局にて転居届を提出のうえ、転送手続を行ってください。
 - ◇ 転居は以下の URL（日本郵便株式会社 Web サイト）からも手続きすることができます。

URL : <https://welcometown.post.japanpost.jp/etn/>

(3) 性別情報の収集について

- ・ 本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち、文学学院事務所までご連絡ください。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

4) 入学検定料の納入

(1) 金額 **30,000 円**

(2) 納入方法 **コンビニエンスストアで支払い、もしくはクレジットカードでの支払い**

- ・ 支払いについての注意事項および支払い方法の詳細は以下 URL「各種所定書式・資料」の「コンビニエンスストアでの検定料支払い方法」「クレジットカードでの検定料支払い方法」をご確認ください。

<https://www.waseda.jp/flas/glas/applicants/admission/>

(3) 入学検定料の免除について

- ・ 以下のケースに該当する場合は、検定料の納入は不要です。
 - ① 当研究科修士課程を 2025 年 3 月に修了見込みの場合。
 - 学生証のコピーを入学志願票にクリップ留めし、出願書類に同封してください。
 - ② 当研究科修士課程修了者が、次年度に当研究科において一般科目等履修生となり、その後引き続き当研究科の博士後期課程に出願する場合。
 - ただし、修士課程入学後 4 年以内に出願する場合に限ります（2021 年 4 月以降の修士課程入学者でかつ今回出願するまで連続して当研究科の一般科目等履修生として在籍している者）。
 - 学生証のコピーを入学志願票にクリップ留めし、出願書類に同封してください。
 - ③ 経済協力開発機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）が発行する、「Least Developed Countries」「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ当該国の国籍を有する者。
 - 詳細は上記 URL の「各種所定書式・資料」から「**特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度・申請書**」を参照して、必要書類を提出してください。
 - ④ 当研究科への入学後に国費外国人留学生となる可能性がある場合。
 - 該当者は出願前に早稲田大学留学センター（in-cie@list.waseda.jp）までご相談ください。
 - 出願時に国費留学生となることが決定していない場合、入学検定料は通常通りお支払いください。国費留学生に決定した者には留学センターから通知書が発行されますので、その写しを文学学術院事務所に提出してください。その後、お支払いいただいた検定料は 2025 年 6 月～7 月に返還いたします。

(4) 入学検定料の返還について

- ・ 一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、以下のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。該当する方に対しては、2025 年 1 月中を目途に文学学術院事務所から連絡します。連絡後、文学学術院事務所が指定する所定の期日までに申請がされない場合、返還することができませんので、ご注意ください。

- ① 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
- ② 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- ③ 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

なお、クレジットカードにより入学検定料を納入した場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

5) 出願書類の提出

(1) 提出方法

修士論文等/研究計画書

- ・ オンラインストレージシステム【BOX（ボックス）】を用いて受付を行います。以下の要領でアップロードしてください。

【ファイル形式】PDF（PDFの1枚目には所定の表紙を必ず付けてください）

【ファイル名称】修士論文等：XXコース_カナ氏名_修士論文等.pdf

研究計画書：XXコース_カナ氏名_研究計画書.pdf

【アップロード URL】

出願資格①に該当する方：<https://waseda.box.com/v/GLAS-Doctoral-submit-1>

出願資格②、④に該当する方：<https://waseda.box.com/v/GLAS-Doctoral-submit-2and4>

- ・ ファイル名称の「XXコース」には、志望コース名を入れてください。
- ・ ファイルをドロップすると、ファイル名が表示されます。画面下の「送信」ボタンを押すと「ファイルを正常に送信しました」と表示され、提出が完了します。このメッセージが表示されない場合は文学学術院事務所までご連絡ください。
- ・ 提出ファイルが250MBを超える場合は、文学学術院事務所までご連絡ください。
- ・ ファイルが複数提出された場合は、最後にアップロードされたファイルを最新版として扱います。なお、複数回提出する場合は必ず同じファイル名称としてください。
- ・ 次のいずれかに該当する場合、提出を受け付けないことがあります。アップロードする前に、必ず確認してください。
 - ファイルが破損している
 - ファイル名が指示通りに正しく設定されていない

修士論文等/研究計画書 以外の書類

- ・ **国内出願**の方は、市販の封筒（角形2号サイズ）に出願書類一式を封入し、「出願書類提出用ラベル」を封筒の宛名面に貼付のうえ、必ず「簡易書留・速達郵便」で送付してください（不足書類を提出する際は、「不備書類在中」と赤字で記載をしてください）。
- ・ **国外出願**の方は、以下の宛先にEMSまたは国際宅配便を利用して送付してください。

To: Admissions Affairs Section,
 Administrative Office for Faculty of Letters, Arts and Sciences,
 WASEDA UNIVERSITY
 City: Tokyo
 Country: Japan
 Address: 1st floor Bldg.34 1-24-1, Toyama, Shinjuku-ku, Tokyo JAPAN
 Postal Code: 162-8644
 Phone: +81-3-5286-3807
 ※内容物欄がある場合は、「Application Documents」と記入してください

- ・ 出願書類の提出方法は郵送のみです。文学学術院事務所窓口への持ち込みは一切認めません。

(2) 出願書類作成および提出上の注意事項

- ・ 修士論文等/研究計画書のデータ提出は、出願締切日の23:59（日本時間）まで受け付けます。それ以降に届いたデータ（アップロードできなかった場合を含む）は受け付けません。
- ・ **国内出願**の場合、出願締切日の消印の付いた出願書類まで受け付けます（締切日消印有効）。
- ・ **国外出願**の場合、出願締切日までに到着した出願書類のみ受け付けます（締切日郵送必着）。国や地域によっては

配達に時間を要するところがありますので、時間に余裕を持って送付してください。

- ・ 出願書類の到着の有無に関する問い合わせにはお答えできません。書類到着の確認は、郵便局の追跡サービス（**国外出願**の場合はEMS等の追跡サービス等）を利用のうえ、ご自身で確認を行ってください。
- ・ 出願期間締切後に到着した出願書類は、いかなる理由でも受け付けません。郵便・宅配業者側のトラブルで書類の未着や遅配が発生した場合でも、本学では一切責任を負いません。
- ・ コピーを提出する場合、または所定書式を印刷する場合は、A4サイズの用紙に**片面印刷**してください。
- ・ 出願書類の作成にあたっては、黒のボールペン（鉛筆、消せるボールペン等は不可）を使用し、文字は楷書、英語はブロック体、数字は算用数字で記入してください。なお、特に指定のない限り、PC等での入力も可とします。
- ・ 所定書式の※印のある欄には記入しないでください。
- ・ 記入内容を修正する場合は、誤った箇所を二重線で消したうえで、正しい内容を余白に記入してください。
- ・ 出願書類に不備や不足書類があった場合は、出願を受け付けないことがありますので、必要書類が揃っているか十分に確認したうえで出願してください。また、本学から連絡があった際は速やかにその指示に従ってください。文学学術院事務所が指定する所定の期日までに不備が解消されない場合は出願を受け付けません。
- ・ 出願に必要な書類以外は提出しないでください。入学志願票や出願書類に付箋を貼ったり、メモ用紙を入れたりしないでください。
- ・ すべての証明書類は**日本語または英語**で作成してください。日本語または英語以外の言語で作成された証明書等は、大使館または本国で認可された公証役場等で公証印を受けた翻訳（日本語または英語）を添付してください。
 - 在日大使館で翻訳公証を行っていない国・地域もあります（例：中国など）。その場合は、**本国で翻訳公証**を受ける必要がありますので、余裕をもって書類の手配を行ってください。なお、在日大使館が法定翻訳を請け負っている場合は、それを提出することも可能です。
 - 翻訳公証の取得について、中国の教育機関を卒業された方は、中国教育部学歴認証センター（北京）またはCHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構でも公証手続を行っています。詳細は以下のWebサイトを参照してください。

中国高等教育学生信息网

URL: <http://www.chsi.com.cn/>

CHSI 中国学歴・学籍認証センター 日本代理機構 URL: <http://www.chsi.jp/>

(3) 出願書類一覧

- ・ 下表および、**P.7 (4) 出願書類別の注意事項**に従い、必要書類を提出してください。
- ・ 所定書式は以下URLの「各種所定書式・資料」からダウンロード、プリントアウトのうえ、作成してください。
<https://www.waseda.jp/flas/glas/applicants/admission/>
- ・ **P.1 3) 出願資格**に応じて、以下の必要書類を提出してください。
- ・ **P.1 3) 出願資格**で、③、⑤に該当する方は、文学学術院事務所までメールでお問い合わせください。

	提出書類	所定書式	対象者
A	入学志願票	あり	全員
B	大学院 修士課程（博士前期課程） 修了証明書（見込み含む）		当研究科修了（見込み）者以外
	学位取得証明書		中国の大学/大学院出身者のみ 学部・大学院両方の学位取得証明書が必要です。
C	大学院 修士課程（博士前期課程）成績証明書		当研究科修了（見込み）者以外

D	学部（学士）成績証明書		当研究科修了（見込み）者以外
E	修士論文等	あり (表紙のみ)	当研究科修了（見込み）者のうち、 所属コースと志望コースが異なる者 または 当研究科修了（見込み）者以外
F	研究計画書		全員
G	履歴書・研究業績	あり	全員
H	日本語能力試験もしくは日本留学試験の 証明書・スコアカード（コピー）		P.12「H」 を参照
I	留学にかかる経費負担計画書	あり	P.12「I」 を参照
J	パスポートのコピー		P.12「J」 を参照
K	在留カードのコピーまたは住民票の写し		P.12「K」 を参照
L	提出書類返還依頼書	あり	該当者（再発行不可能書類の返還を希望する者）のみ
M	受験票送付用封筒（長形3号）		国内出願 の方のみ
N	出願チェック票	あり	全員

(4) 出願書類別の注意事項

A：入学志願票

- 必ず全員所定書式を利用して作成、提出してください。
- P.3 3) 志願者情報の登録**と相違の無いように記入してください。
- 入学志願票提出後の志望コース・受験外国語の変更は認めません。
- 下表の記入方法を参照しながら、正確に記入してください。

入学志願票の記入方法	
カナ氏名	カタカナで氏名を記入してください。 ミドルネームがある場合は、「メイ」の欄に合わせて記入してください。
漢字氏名	漢字で氏名を記入してください。漢字があてられない場合は、ひらがなで記入してください。 ミドルネームがある場合は、「名」の欄に合わせて記入してください。
英字氏名	英字アルファベットで氏名を記入してください。 ミドルネームがある場合は、「Given」の欄に合わせて記入してください。
生年月日	西暦で記入してください。
国籍	国籍を記入してください。
入試区分	出願する入試区分（博士後期課程入試）に○を記入してください。
第一言語	第一言語（幼時から自然に習得した（最も得意な）言語）を入力してください。
一般外国語	P.15 3) 選考方法 を参照し、受験する「一般外国語」を選択、記入してください。 外国語・文学系のコース志願の方は P.15 の専門科目に記された外国語名を書かないよう注意してください。
志望コース	志望するコース名を記入してください。
希望指導教員名	<ul style="list-style-type: none"> 希望する指導教員名を記入してください。 研究指導・専門分野一覧は、文学研究科 Web サイトにて、本入学試験要項と同じタブ内に公開しています。

	<ul style="list-style-type: none"> いずれのコースに出願した場合も、決定した指導教員を入学手続き時にお知らせします。 <u>希望通りの指導教員とならない場合がありますので、ご承知おきください。</u>
郵便番号	現住所の郵便番号を記入してください。
電話番号	試験当日の緊急連絡先として使用しますので、必ず本人に連絡のつく番号を記入してください。
メールアドレス	出願についての確認や試験に関するご案内の際に使用しますので、本人に連絡のつくメールアドレスを記入してください。なお、合格した場合、入学手続等のご案内にも使用します。
住所	現住所を都道府県、市区町村、丁目番地、建物マンション名まで、明記してください。 国外から出願する場合、海外の住所の場合は、英文で記入してください。
学歴	<ul style="list-style-type: none"> 通学したすべての教育機関（小学校～大学・大学院）について古い順に記入してください。 ただし、幼稚園・語学学校・予備校などの記入は不要です。 入学志願票に書ききれない場合は別紙（書式自由）に記入してください。 転部・編入・留学・科目等履修生等の経歴がある場合はすべて記入してください。 修了見込みの場合は、見込みであることがわかるように記入してください。 例：「XXX 大学 XXX 学部 XXX 学科 XXX コース 修了<u>見込み</u>」としてください。 大学学部以上を卒業/修了した場合、学位欄に学位種別（学士・修士等）を記入してください。 例： 修士（文学）※見込みの場合も記入してください。
最終出身学校	修了あるいは修了見込の年月日（早稲田大学を3月に修了する場合は3月15日、9月に修了する場合は9月15日と記載）、および大学院名を記入してください。
在留資格	日本国籍以外の方のみ記入してください。記入欄は「出願時点」と「入学時点」に分かれています。出願時点で在留資格が「有」の場合は、在留資格の種類および期限も併せて記入してください。
現職業	全員「有・無」を記入してください。出願時点で「有」の場合は、勤務先名も併せて記入してください。
本学の在籍履歴	<ul style="list-style-type: none"> 在学中の方も含め、本学の正規生として入学した履歴がある場合は、入学年月と学籍番号を記入してください。 本学の大学院一般科目等履修生の在籍履歴がある場合は、出願時点での連続在籍年数を記入してください。
入学検定料支払い方法	<ul style="list-style-type: none"> コンビニエンスストア、クレジットカード、免除のいずれかに○を付けてください。 『入学検定料・選考料取扱明細書』から切り取った収納証明書（コンビニ決済の場合）または申込内容照会結果のプリントアウト（クレジットカード決済の場合）または免除に関する根拠書類を P.4 <u>(3) 入学検定料の免除について</u>の注意事項に従って貼付または添付してください。
写真票欄	<ul style="list-style-type: none"> 受験番号欄には記入しないでください。 <u>入試年度（2025年度）、入試区分（博士後期課程）、カナ氏名をそれぞれ記入してください。</u> 入学試験当日の本人確認のために使用しますので、写真貼付欄には、本人と判別できる写真を貼り付けてください。写真は以下の条件で作成してください。 ◇ 出願時から3ヶ月以内に撮影したカラー写真（縦4cm×横3cm・上半身・正面・無帽・無背景・枠なし・写真用紙に印刷されたもの）を用意し、<u>裏面にカナ氏名と志望コースを記入のうえ</u>、所定欄に全面糊付けしてください。なお、後述のとおり、入学手続時には出願時と同じ写真のデータ版をアップロードすることとなりますので、データ版もあらかじめ取得し、大切に保管しておいてください。 ◇ マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医

	<p>療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、文学学術院事務局までお問い合わせください。</p> <p>◇ 顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、画像に加工は施さないでください。また、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。</p> <p>◇ スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真（スピード写真可）で撮影してください。</p> <p>◇ 入学手続き時に学生証用の写真を別途アップロードすることになりますが、その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続き時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続における本人確認および学内の各種 Web サービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。</p>
--	--

B : 大学院修士課程（博士前期課程）修了（見込）証明書/中国の大学院出身の方は「学位取得証明書」も提出

C : 大学院修士課程（博士前期課程）成績証明書

D : 学部（学士）成績証明書/中国の大学出身の方は「学位取得証明書」も提出

- ・ 必ずすべての大学/大学院の証明書の「原本」を提出してください。コピーの提出は不可です。
- ・ 証明書の有効期限はありません。内容が最新のものと変わらない場合は過去に取得した証明書でも構いません。
- ・ 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。
- ・ 在籍期間中に科目履修をしなかった場合や留学等により成績証明書に空白の期間がある場合、当該期間の理由書（書式自由）を提出してください。
- ・ 証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。
- ・ 成績証明書は、入学志願票に記載した大学学部・大学院以上の全学期の成績が記載されたものを提出してください。
 - 現在、修士課程（博士前期課程）に在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書を提出してください。
- ・ 以下に記載するパターンに該当する場合は、必要な証明書を必ず提出してください。
 - **日本語または英語で発行できない場合**
 - ◇ 翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する翻訳公証書（原本）と証明書を合わせて提出してください（「証明書」「翻訳文」「翻訳公証書」の3点が必要となります）。
 - ◇ 大使館による法定翻訳を提出することも認めます（「証明書」「法定翻訳」の2点が必要となります）。
 - **修了（見込）証明書と成績証明書が兼ねられている「成績・修了（見込）証明書」の発行が可能な場合**
 - ◇ 「成績・修了（見込）証明書」1通でも可。
 - **早稲田大学文学研究科を修了（見込）の場合**
 - ◇ B～Dの証明書の提出は不要です。
 - **複数の大学/大学院を卒業（修了）している場合**
 - ◇ すべての大学（大学院）の「卒業（修了）証明書」、「成績証明書」、「学位取得証明書（中国の大学出身者のみ）」を提出してください。
 - **転部・転科等をしている場合**
 - ◇ 転部・転科等の前の学部/研究科の成績証明書も合わせて提出してください。
 - **留学をして単位認定を行っている場合、もしくは留学後の単位認定が済んでいない場合**
 - ◇ 留学先の大学等の成績証明書（原本）も合わせて提出してください。
 - **証明書が発行できない事由（出願時に休学中または留学（休学扱い）など）がある場合**

- ◇ 理由書（様式自由・発行可能となる時期も記載）を作成のうえ、添付してください。証明書が発行可能になり次第、郵送（簡易書留）にて文学学術院事務所に提出してください。なお、出願チェック票の不足書類欄にもその旨記載してください。

➤ **編入学している場合**

- ◇ 編入学前の大学/大学院の「成績証明書」も提出してください。

➤ **中途退学している場合**

- ◇ すべての大学（大学院）の「成績証明書」、「退学証明書」も合わせて提出してください。「成績証明書」が提出できない場合は、「退学証明書」のみを提出してください。

➤ **飛び級または繰り上げ卒業により、飛び級した学年、理由などが成績証明書に記載されていない場合**

- ◇ それを証明する大学作成の書類を合わせて提出してください。

➤ **中国の大学/大学院を卒業し、学位を取得した場合**

- ◇ 「修了（見込）証明書」「成績証明書」（大学・大学院）原本に加え、「学位取得（見込）証明書」（大学・大学院）原本も提出してください。
- ◇ 修了証明書、学位取得証明書には Diploma No. / Certificate No.等を付記するよう、発行側に求めてください。
- ◇ CHSI（中国高等教育学生信息网）から申請し、以下の認証書が CSSD（CHESICC）から文学研究科事務所（toyama-adm@list.waseda.jp）へメールで直送されるよう手配してください。

**既卒者 …「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」（英語版）
および「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」（英語版）
修了見込者 …「Online Verification Report of Student Record」（英語版）**

- ・ 詳細は、CSSD（CHESICC）の Web サイト（<https://www.chsi.com.cn/en/>）を確認してください。
- ・ 必ず出願締切日までに本学へ認証書が届くよう、余裕を持って準備してください。出願期間前に到着した場合も受理します。
- ・ CSSD から直接メールで届く、**英語版**の認証書のみを有効とします。
- ・ なお、認証書が到着したかどうかについてはお答えできません。直送されたかどうかについては発行機関にご確認ください。

➤ **改姓により入学志願票と証明書の氏名が異なっている場合**

- ◇ 改姓のため、証明書などに記載されている氏名が入学志願票と異なる場合は、改姓を行った旨の理由書（書式自由）を作成のうえ、添付してください。なお、入学手続き時に戸籍謄本などの証明書提出が必要となります。

➤ **正規生以外で大学学部以上に在籍したことがある場合**

- ◇ どのような形態の在学であっても（正規生でなくても）、在学期間中の成績証明書を提出してください。成績証明書が発行されない場合は、在籍したことを証明する証明書を必ず提出してください。（例：科目等履修生、研究生など）

E：修士論文等

- 提出論文の使用言語は原則として日本語または英語です。
- 当研究科修了（見込み）で出身（所属）コースと志望コースが同じ場合**、提出の必要はありません。

提出が必要な方	提出の必要がない方
<ul style="list-style-type: none">当研究科修了見込みのコースと志望コースが異なる方他大学の研究科修了（見込み）の方本学の他研究科修了（見込み）の方	当研究科修了（見込み）で出身（所属）コースと志望コースが同じ方

- ① **当研究科修了見込みのコースと異なるコースに出願する方、あるいは他大学・本学の他研究科を修了見込みで出願する方のうち、2025年1月7日（火）時点で修士論文が未完成または未提出の場合**
 - 出願時点の修士論文1部
 - 修士論文概要書1部（日本語12,000字程度）
 - ◇ 提出の際、ファイル名は「XXコース_カナ氏名_修士論文概要書.pdf」としてください。
 - ② **他大学・本学の他研究科を修了（見込み）で出願する方のうち、修士論文の提出が必要ない研究科を修了（見込み）の場合または修士論文の内容が志望コースの分野と異なる場合**
 - 志望コースの分野に関わる修士論文に準ずる論文1部
 - ③ **「日本語または英語」以外の言語で作成された修士論文の提出を希望する場合**
 - 出願締切日の1か月前までに文学学術院事務所に申し出て、その指示に従ってください。
- P.1 3）出願資格** ①②④に該当し、修了見込みの方に限り、他の出願書類と提出期限が異なります。以下の提出期限までに提出がない場合、受験できませんので注意してください（出願が受理されず、受験票が発行されません）。
 - 提出期限：2025年1月7日（火）
 - 修士論文はPDFデータ（すべての文字情報が読み取れないスキャン等は不可）で提出してください。PDFデータを提出できない場合は、出願を認めません。
 - 上記の形式で提出ができない場合は、事前に文学学術院事務所までご相談ください。
 - 提出方法の詳細は **P.4-5 5）出願書類の提出（1）提出方法**を参照してください。

F：研究計画書

- 必ず全員提出してください。
- 博士学位請求論文の研究計画書（日本語8,000字程度、MS-Word等による作成可、書式自由）を記したものを作成し、提出してください。
- 所定書式**を表紙（提出ファイルの1ページ目）に利用し、入試年度（**2025年度**）、入試区分（**博士後期課程入試**）、志望コース、希望指導教員名を必ず明記してください。
- 修士論文等と同様に、**PDFデータ**（すべての文字情報が読み取れないスキャン等は不可）で提出してください（紙媒体による提出は不要です）。
- 提出方法の詳細は **P.4-5 5）出願書類の提出（1）提出方法**を参照してください。
- アルファベット等の半角文字は2文字を1字分と換算します。
- 本文は、特に指定のない限り、「縦書き」もしくは「横書き」のどちらでも構いません。
- P.1 3）出願資格** ①②④に該当し、修了見込みの方に限り、他の出願書類と提出期限が異なります。以下の提出期限までに提出がない場合、受験できませんので注意してください（出願が受理されず、受験票が発行されません）。
 - 提出期限：2025年1月7日（火）

G: 履歴書・研究業績

- ・ 必ず全員提出してください。
- ・ 所定書式を利用して作成してください。
- ・ 修士課程修了見込みの方は、修士論文題目の欄に現在作成中の論文題目を記入してください。

H: 日本語能力試験もしくは日本留学試験の証明書・スコアカード (コピー)

※留学生でも日本の大学/大学院を卒業/修了 (見込) の場合は不要です。

- ・ P.1 **3) 出願資格**の②、④に該当する場合は、提出してください。
 - ただし、日本国内の中等教育に相当する課程 (中学校および高等学校) を修了している場合は提出不要です。
- ・ 以下の所定基準を満たした証明書・スコアカードのコピーを提出してください。証明書・スコアカードのコピーはいずれか1点のみの提出でかまいません。また、有効期限は定めません。

検定試験種別	証明書・スコアカード (いずれか1点)	所定基準
日本語能力試験	「合否結果通知書」 「認定結果及び成績に関する証明書」 「日本語能力認定書」	N1 (または1級) 合格
日本留学試験	「成績通知書」 「成績確認書」	「日本語」科目の合計点 (「記述」を除く) が260点以上

- ・ ただし、以下のコースに出願する場合には、日本語能力試験 N2 (または2級) 合格を証明する「合否結果通知書」「認定結果及び成績に関する証明書」「日本語能力認定書」 (いずれか1点で可) のコピー、もしくは日本留学試験「日本語 (「記述」を除く)」220点以上の「成績通知書」「成績確認書」 (いずれか1点で可) のコピーの提出でも出願を認めます。
 - ◇ 英文学コース、フランス語フランス文学コース、ドイツ語ドイツ文学コース、演劇映像学コース、美術史学コース、東洋史学コース、考古学コース、文化人類学コース、中東・イスラーム研究コース
- ・ 証明書・スコアカードが出願期間締切日までに提出できない場合、出願を受け付けません。

I: 留学にかかる経費負担計画書 ※留学生でも日本の大学/大学院を卒業/修了 (見込) の場合は不要です。

- ・ P.1 **3) 出願資格**の②、④に該当する場合は、提出してください。
- ・ 所定書式を利用し、本学に留学する期間の総費用 (博士後期課程は3年分の学費及び生活費) をどのように負担するのかについて、日本語または英語で記入してください。また、志願者本人の署名を忘れないようにしてください。
- ・ 経費負担計画書の「政府またはその他財団 (Government/sponsoring agency)」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金に関する証明書 (奨学金受給証明書) を提出してください。

J: パスポートのコピー ※留学生でも日本の大学/大学院を卒業/修了 (見込) の場合は不要です。

- ・ P.1 **3) 出願資格**の②、④に該当する場合は、出願時に有効なパスポートのコピーを提出してください。
 - ただし、日本国籍および特別永住者などの在留資格を有する場合は提出不要です。
- ・ 写真が掲載されているページのコピーを提出してください。

K: 在留カードのコピーまたは住民票の写し ※留学生でも日本の大学/大学院を卒業/修了 (見込) の場合は不要です。

- ・ P.1 **3) 出願資格**の②、④に該当する場合で、日本国籍以外の**国内出願**の方 (在留資格が「短期滞在」の者は除く) は、居住する区・市役所などで発行される、有効な在留カード (表・裏両面) のコピーまたは住民票の写しを提出してください。
- ・ **国内出願**の方で、出願時に入学時以降まで有効な在留資格を有していても、個々の事情により、入学後の在留資格

3. 入学試験

1) 受験票および入学試験案内の送付

- ・ 出願が受理された**国内出願**の方には、2025年1月20日（月）頃に受験票および入学試験案内を、出願時に提出いただいた「**受験票送付用封筒**」に入れて発送します。
- ・ **2025年1月22日（水）**を過ぎても受験票が届かない場合は、直ちに文学学術院事務局までお問い合わせください。
 - 出願後に転居した場合は、必ずご自身で郵便局に転居届を提出のうえ、転送手続きを行ってください。
 - ◇ 転居届は以下のURL（日本郵便株式会社 Web サイト）からも手続することができます。
URL : <https://welcometown.post.japanpost.jp/etn/>
- ・ 出願が受理された**国外出願**の方は発送日の関係で受領が間に合わない可能性がありますので、原則として1次試験当日に交付します。受け取り方法の詳細は、メールでお知らせします。
- ・ **受験票は、入学後学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。**

2) 選考日程・注意事項

(1) 第1次試験（書類審査・筆記試験）： **2025年1月26日（日）**

- ・ 試験時間割は以下のとおりです。

コース等	一般外国語	専門科目
下記以外のコース	10:00~11:20 (1ヶ国語)	13:00~14:30
哲学コース	10:00~12:40 (2ヶ国語)	13:30~15:00
心理学コース	10:00~11:20 (1ヶ国語)	無し
西洋史学コース(※)	10:00~12:40 (2ヶ国語)	無し
西洋史学コース(※)	8:40~12:40 (3ヶ国語)	無し

※学歴によって受験する科目数が異なります。詳細は **P.15 3) 選考方法** を確認してください。

- ・ 各試験開始時刻の30分前までに試験教室へ入室してください。
- ・ 試験開始後20分を経過してからの試験教室への入場は一切認めません。
- ・ 答案が完成した場合でも各試験終了までは退室できません。
- ・ 受験票は必ず携行し、試験中は机の上に置いてください。

(2) 第2次試験（口述試験）： **2025年1月30日（木）**

- ・ 集合時間は、第1次試験合格者に対してメールで**1月29日（水）18:00まで**にお知らせします。
- ・ 試験開始時刻はコース、受験者によって異なります。
- ・ 指定の集合時間に20分以上遅れた場合は、受験を認めません。

3) 選考方法

選考方法は下表のとおりです。一般外国語は、ご自身で受験する外国語を選択してください。なお、以下のとおり学歴によって選択可能科目が異なります。国籍には拠りません。ただし選択する一般外国語に第一言語（幼時から自然に習得した（最も得意な）言語）が含まれる場合や、区分の判断に迷う場合は、文学学術院事務所（toyama-adm@list.waseda.jp）までメールでご連絡ください。

- **A：日本の中等教育の課程（中学校および高等学校）を修了した方**
- **B：Aに当たらない方（中等教育すべてを日本以外の課程で修了し、その後日本の大学を卒業した場合はB区分にあたります）**

コース	第1次試験			第2次試験
	一般外国語		専門科目	
	A	B		
哲学	英・仏・独語のうち2カ国語選択	日本語および、左記より選択した第一言語以外の1カ国語の2カ国語	資料読解	口述試験
東洋哲学	英・仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	日本語	資料読解	
心理学	英語	英語	無し（実施しない）	
社会学	仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	第一言語以外の左記外国語および日本語のうち1カ国語選択	英文による社会学資料の読解	
教育学	英・仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	日本語	教育学に関する知識	
日本語日本文学	英・仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	日本語	資料解読	
英文学	仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	日本語	英語	
フランス語フランス文学	英・独・露・現代中国・伊・西語のうち1カ国語選択	第一言語以外の左記外国語および日本語のうち1カ国語選択	仏語	
ドイツ語ドイツ文学	英・仏・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	第一言語以外の左記外国語および日本語のうち1カ国語選択	独語	
ロシア語ロシア文化	英・仏・独・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	日本語	露語	
中国語中国文学	英・仏・独・露・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	日本語	中国語	
演劇映像学	英・仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	日本語	資料読解	
美術史学	英・仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	第一言語以外の左記外国語および日本語のうち1カ国語選択	資料読解	
日本史学	英・仏・独・露・現代中国・朝鮮語のうち1カ国語選択	日本語	資料解読	
東洋史学	英・仏・独・露・現代中国・朝鮮語のうち1カ国語選択	第一言語以外の左記外国語および日本語のうち1カ国語選択	資料解読	
西洋史学	英・仏・独・露・伊・西語のうち2カ国語選択	日本語および、左記より選択した第一言語以外の2カ国語の3カ国語	無し（実施しない）	
考古学	英・仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	第一言語以外の左記外国語および日本語のうち1カ国語選択	考古学（論述）	
文化人類学	英・仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	第一言語以外の左記外国語および日本語のうち1カ国語選択	資料読解	
表象・メディア論	英・仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち1カ国語選択	日本語	表象・メディア論（資料解読を含む）	
中東・イスラーム研究	英・仏・独・露・現代中国・西語のうち1カ国語選択	第一言語以外の左記外国語および日本語のうち1カ国語選択	資料読解	

(1) 第1次試験（書類審査、筆記試験）

- ・ **日本語以外の一般外国語試験**においては、辞書（※冊子のみ。書き込み・付箋・インデックス等のある辞書・電子辞書は不可）の使用を認めます。
 - **哲学コースおよび西洋史学コースの受験者で、「日本語」を含めた2科目以上の一般外国語を受験する方（B区分の受験者）**は、「日英」「日仏」「日独」等、日本語の含まれる辞書を使用しないように注意してください。
 - 専門科目は、すべての科目において辞書の使用を認めません。
- ・ 過去の入試問題は文学学術院事務所または入学センターWeb サイトにて閲覧できます。
https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/past_test/
 - 著作権の利用許諾が得られなかったものについては、マスクがかかっています。なお、過去3年分に限り筆記試験問題の原本を、文学学術院事務所窓口で閲覧することができます。

(2) 第2次試験（口述試験）

- ・ 第1次試験（書類審査・筆記試験）合格者のみ、第2次試験を行います。

4) 第1次試験会場

- ・ 第1次試験は、**早稲田大学戸山キャンパス（東京都新宿区戸山1-24-1）**で実施します。
- ・ 受験時の交通・宿泊費については各自で負担してください。
- ・ 第1次試験の詳細は、受験票交付時に配布する入学試験案内にて確認してください。

5) 口述試験における Web 会議システム（Zoom）の使用

- ・ 口述試験は Web 会議システム Zoom（以下、Zoom）を使用して実施します。
- ・ 本学は試験中のデータを選考に活用するため、録音、録画、撮影のいずれかを行うことがあります。
- ・ Zoom の利用にあたっては志願者自身に利用設備環境の準備を行っていただきます。あらかじめテストミーティング（<http://zoom.us/test>）に参加し、次の環境が確保できることを確認してください。なお、Zoom の利用にあたって生ずる必要経費は志願者の自己負担とします。
 - インターネット接続環境
安定したインターネット回線をご用意ください。回線の安定性の観点からケーブルを使用した有線 LAN システムの利用をお勧めします。
 - 音声、映像機材
Web カメラ、マイク、イヤホン、スピーカー等を準備してください。パソコン等に内蔵されているものを利用いただいてもかまいません。なお、パソコンの利用を推奨しますが、スマートフォンやタブレット端末を利用してもかまいません。
 - 利用場所
上記の環境が整えられ、かつ周りに第三者のいない静寂な環境を保つことのできる場所を確保してください。
- ・ 試験開始時刻は本学にて指定します。個別のご要望には応じかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 遅刻限度は試験開始時刻より 20 分とします。それ以上の遅刻は欠席とみなします。
- ・ 接続が切れてしまう等の不測の事態により試験の実施が困難と判断される場合、入学志願票に記載の連絡先に本学から電話やメールにて連絡します。連絡内容を確認し、その指示に従ってください。連絡がつかない場合や指示に

従わない場合は、当該受験者を試験放棄とみなすことがあります。その場合においても、入学検定料は返還いたしません。

- ・ 試験中に離席した場合、試験放棄とみなすことがあります。
- ・ 以下の注意事項を守らない場合は、不正行為とみなすことがあります。
 - 手元に置けるものは受験票、筆記用具、メモ帳、無地のハンカチ、箱や袋から出したティッシュペーパーのみです。
 - 受験者による試験の録音、録画、撮影は禁止です。
 - Zoomの映像と音声は常に「オン」にし、常に画面に顔全体が映るようにしてください。
 - 試験で使用している機器以外の通信機器は使用しないでください。また、試験で使用している機器で情報を検索したり、Zoom以外のアプリケーションやツールを使用したりしないでください。
 - Zoomのバーチャル背景機能や背景をぼかす機能は使用しないでください。
 - 周りに第三者がいなくても確認するために、試験中、カメラを動かして部屋全体を映すことを求めることがあります。その場合は指示に従ってください。
 - 試験中はマスクを外してください。
 - Zoomの操作方法は以下のサイトをご確認ください。
Zoom サポート : <https://support.zoom.us/hc/ja>

6) 受験上の注意

(1) 感染症について

- ・ 基本的な感染予防対策（手洗い等の手指衛生や咳エチケット等）を徹底してください。なお、本学ではマスクの着用は個人の判断に委ねます。
- ・ 学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督員への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください。
- ・ 上記に該当しない場合でも、試験当日までに発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等に相談のうえ、当日の受験を見合わせる等、その指示に従ってください。
- ・ 欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や検定料の返還は行いません。

(2) 不正行為について

本学では、入学試験を厳正に実施し、すべての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。本学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となる場合があります。
2. 次のことをすると不正行為となる場合があります。
 - ① カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わる、身体、物品、机などにメモをする、メモを見るなど）。
 - ② 筆記試験において、試験中に使用を認められていない物品を使用すること（机上に置くこと、身に着けることを含む）。
 - ③ 筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど）。
 - ④ 筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わ

- ず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
- ⑤ 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - ⑥ 試験時間中に、携帯電話等を身に付けること、使用すること。
 - ⑦ 試験時間中に、携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
 - ⑧ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑨ 試験場において監督員等の指示に従わないこと。
 - ⑩ 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ⑪ 解答用紙を持ち帰ること。
 - ⑫ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。
- ・ 監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - ・ 別室または別席での受験を求めること。
 - ・ 本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。
4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
- ・ 当該年度における本学のすべての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
 - ・ 当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とすること。
- なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき退学を含む懲戒処分の対象となることがあります。**大学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の在籍（出身）大学・保護者等への報告を行う場合があります。**

(3) 試験時間中に使用できる物品について

- ・ 試験時間中に使用できる物品は以下のとおりです。
- ・ ただし「試験時間中に使用できる物品」を使用している場合でも、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督員が確認することがあります。
- ・ 文房具・時計等の貸し出しは行っていませんので、必要な物品は各自で忘れずに持参してください。
- ・ 「試験時間中に使用できる物品」以外の物品の使用は原則認めません。机の上に置いている場合や使用した場合は、不正行為とみなされる場合があります。

物品	注意事項
黒鉛筆	HB(黒)のみ使用を認めます。ただし、和歌・格言等が印字されているものは使用を認めません。
シャープペンシル	HB(黒)のみ使用を認めます。 ※替え芯ケースを机の上に置くことは認めません。試験時間中は各自のかばんの中に入れておき、使用する場合は監督員に申し出てください。
プラスチック消しゴム	
時計・ストップウォッチ	試験教室には時計を設置していませんので、必ず各自で持参してください。 ただし、以下に留意してください。 ・ 秒針音のするものは周囲の受験生の迷惑となる可能性があるため、使用を認めませ

	<p><u>ん。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 辞書・電卓等、時計・計時以外の機能のあるものは、使用を認めません。 通信機能のあるものは、それが電波を発しない状態であっても使用を認めません。 携帯電話等を時計として使用することは認めません。 試験時間中に時計のアラーム音等が鳴った場合、不正行為となることがありますので、アラーム機能付きの時計は、機能を解除してください。 その他、他の受験生の迷惑になる可能性がある、試験の円滑な実施に支障をきたす、または不正行為につながると試験監督員が判断した場合、使用を認めないことがあります。
めがね	写真照合の際にいったん外していただくことがあります。
ティッシュペーパー	袋または箱から中身だけ取り出して使用してください。
ハンカチ、座布団、ひざ掛け、上着	文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。
目薬・点鼻薬	試験時間中には机の上に置かず各自のかばんの中にしまっておき、使用する場合は試験監督員に申し出てください。
マスク	着用している場合は、 <u>写真照合の際にいったん外していただきます。</u> ただし、文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。
鉛筆削り	他の受験者の迷惑にならない範囲で使用を認めます。
辞書（冊子のみ）	前述の P.16（1）第1次試験（書類審査、筆記試験） を参照してください。ただし、一般外国語における「日本語」および専門科目の試験は持ち込み不可です。
カイロ	包みから出した状態で使用してください。ただし、机の上に置くことは認めません。

※サポーター、テーピング、包帯、湿布、ギプス、眼帯、コルセットを着用したまま受験することはできますが、試験時間中に着脱する場合は、試験監督員に申し出て許可を得てください。

（4）試験時間中に使用を認めない物品について

以下に「試験時間中に使用を認めない物品」を例示します。

物品	注意事項
通信機能のある電子機器 (携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス等)	電源を必ず切ってかばんの中にしまってください。 ※時計としての使用も認めません。 ※試験時間中にかばんの中にしまっていなかった場合には、 <u>受験者の故意・過失に関わらず、その電源が切られている状態であっても、原則として不正行為とみなします。</u>
その他通信機能のない電子機器 (電卓・電子辞書・音楽プレイヤー・ICレコーダー・イヤホン等)	電源を必ず切ってかばんの中にしまってください。
耳栓	監督員の指示が聞こえない可能性があるため使用を認めません。
飲食物	ペットボトル飲料、飴、ガム等を含みます。
黒鉛筆・シャープペンシル以外の筆記具（ボールペン、万年筆、蛍光ペン、赤ペン等）、筆箱、シャープペンシルの替え芯ケース	
補聴器、帽子、バンダナ、車椅子等	障がい等により使用を必要とする場合は、出願に先立ち、 P.2 に記載

	の申請を期限までに行う必要があります。また、「帽子」は服についているフードを被ることも認めません。
手指用消毒液等の除菌用品	試験中は必ずかばんの中にしまってください。

(5) 免責事項

本学では入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。

1. 受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ① 生活騒音（自動車・航空機・風雨・換気・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。
- ② 試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③ 隣席の受験者の手洗いや、体調不良による入退室のため、監督員の指示により席を立っていただくことがあります。その場合でも、原則として試験時間の延長等特別な措置は行いません。
- ④ 机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ⑤ 他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室または別席での受験を求めることがあります。

2. 不可抗力による事故等

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や JR 山手線をはじめとする首都圏の主要な交通機関が運転を見合わせるような場合には、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

4. 合格者発表・入学手続

1) 合格者発表

(1) 第1次試験合格者発表日： 2025年1月28日(火) 10:00～

(2) 最終合格者発表日： 2025年1月31日(金) 10:00～

(3) 発表方法：

- ・ 以下の URL (文学研究科 Web サイト) で合格者発表を行います。
URL : <http://www.waseda.jp/flas/glas/>
- ・ 合否に関する問い合わせには応じることができません。
- ・ 合格者発表時に受験生への送付書類・発行書類等はありません。
 - 奨学金申請などの理由により証明書発行を希望する場合、提出先・理由を添えてメールにて文学学術院事務所までご連絡ください。

2) 入学手続関係書類の送付

- ・ 最終合格者には 2025 年 2 月中旬に、出願時にご登録いただいたメールアドレス宛に送付します。
- ・ 2 月中旬を過ぎてもメールが届かない場合には、速やかに文学学術院事務所までお問い合わせください。

3) 入学手続

- ・ 入学手続は所定の期間内に、①入学手続情報の入力<UCARO (Web システム)>、②入学手続料(登録料(入学金相当額・学費・諸会費)の納入<銀行振込>、③入学手続書類提出<郵送>の3点を完了することで、手続が完了します。
- ・ 所定の期限までに UCARO への情報登録がない、入学手続料の入金がない、入学手続書類の送付がない場合、**入学の意思がないとみなします。**
- ・ 以下に入学手続必要書類(予定)を参考までに示しますが、変更となる場合がありますのであらかじめご承知おきください。

- ① 住民票の写し(住所・氏名・生年月日・性別が記載されたもの)
- ② 出身学校の卒業(修了)証明書
- ③ 学費・諸会費振込領収証のコピー

- ・ 入学手続に関する詳細については、メールにて送付される「入学手続の手引き」を確認してください。

※ 在留資格の申請が必要な場合の入学手続料の納入について

- ・ 留学生など、在留資格申請が必要な対象者は、「入学手続関係書類(手引き・振込依頼書)等」受領後、速やかに入学手続料の納入を済ませてください。
- ・ 入学手続料の納入をもって在留資格の申請に必要な「入学許可書」を発行します。入学許可書が必要な方は文学学術院事務所にご連絡ください。
- ・ 在留資格の代理申請については、**P.22** **5) 外国人学生の在留資格**を参考にしてください。

5. その他

1) 入学金・学費・諸会費

- 2025 年度入学金・学費・諸会費を本学入学センターWeb サイトにて公開しています。なお、2025 年度の実験演習料・学生健康増進互助会費は決定次第、同 Web サイトで公開します。
 - 入学センターWeb サイト 入学金・学費・諸会費
<http://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/fees/>

2) 入学金免除

- 本学、本学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が入学する場合、入学金が免除されます。
- 詳細は、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご確認ください。

3) 入学辞退にともなう学費返還

- 一度提出した書類および納入した登録料（入学金相当額）、学費・諸会費（春学期分）は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費（春学期分）のみ返還の対象となります。
- 手続方法等、詳細は、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご確認ください。

4) 提携金融機関による学費ローン（入学時）

- 奨学課の Web サイト（以下 URL）をご確認ください。
<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/applying-loans/programs/>

5) 外国人学生の在留資格

- 留学センターの Web サイト（以下 URL）をご確認ください。
<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/current/extvisastatus.html>

6) 文学研究科博士後期課程入学後に「教育職員 1 種免許状」の取得を希望される方へ

文学研究科博士後期課程入学後に、「教育職員 1 種免許状」の取得を希望する場合、文学研究科の入学試験とは別に卒業した学部（科目等履修生）入試に出願し、学部の科目等履修生となる必要があります。なお、科目等履修生入試への出願期間は文学研究科入学前の 2025 年 2 月～3 月初旬（学部によって異なる）となりますので、希望される場合は早めに出願期間・出願資格等を確認してください。問い合わせ先は以下の表のとおりです。

科目等履修生としての在学期間は 1 年間または半年間となり、複数年度にわたって履修が必要な場合は、年度ごとに出願が必要となります（教職・学芸員の科目等履修生は 3 年度（半年間の在学も 1 年度として扱います）まで在学が可能です）。また、科目等履修生として取得可能な教員免許状は卒業学部・学科等で取得可能であった学校種・教科に限ります。

学部の科目等履修生としての学籍を持たずに大学院生として履修した学部設置科目の単位は、教育職員 1 種免許状取得のための単位としては証明できませんので注意してください。

卒業大学・学部	問い合わせ先
早稲田大学文化構想学部・文学部・第一文学部・第二文学部	文学学術院事務所（教職担当）
早稲田大学の上記以外の学部	卒業学部の事務所

博物館学芸員・図書館司書・学校図書館司書教諭等の教職以外の資格取得については、博士後期課程の学生を科目等履修生として受け入れておりません。

7) 大学院博士後期課程研究者養成奨学金制度

授業料を免除されている学生（国費留学生、助手等）などを除き、以下の条件を全て満たした場合に申請できる奨学金制度があります（2023年度以降入学者）。

- ・博士後期課程（一貫制博士課程）の正規学生で、標準修業年限内の者
- ・奨学金を受ける年度の4月1日時点で、修士課程もしくは専門職学位課程を修了後8年以内の者（※修士課程もしくは専門職学位課程を修了していない場合は、学部卒業後10年以内でも可）
- ・申請者本人の奨学金を受ける前年収入が442万円以内（税込）の者

詳しくは奨学課 Web サイト（<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/aid/programs/doctoral-students/>）および募集時期に配付される募集要項をご確認ください。

8) 英文学コースにおける要件の緩和

英文学コースに限り、英語力が極めて高く、かつ、当研究科が許可をした場合、以下のとおり要件を緩和します。

(1) 資格審査 申請締切

緩和可否については個別の判断となりますので、2024年10月28日（月）までに文学学術院事務所（toyama-adm@list.waseda.jp）までメールでお問い合わせください。

(2) 出願書類

以下のように出願要件が緩和されます。

	通常	要件の緩和が認められた場合
日本語能力に関する試験結果	日本語能力試験2級（N2）合格証明書 または、日本留学試験「日本語」220点以上の成績通知書または成績確認書（いずれもコピー可）	日本語能力に関する試験結果の代替として、以下に示す「英語以外の統一外国語試験の成績」を出願時に提出することを認める。
研究計画書	日本語 8,000 字程度	英語 5,000 語程度に代替可能

英語以外の統一外国語試験の成績

「日本語能力試験または日本留学試験いずれか1点の証明書・スコアカードのコピー」の代替として、以下の語学統一試験結果（成績）の提出を必須とします。なお、提出する試験結果（成績）は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のB2以上であることを条件とします。

フランス語	フランス国民教育省認定のTCF（フランス語学カテスト）あるいは DELF-DALF（フランス国民教育省認定フランス語学力資格試験）で B2 以上
ドイツ語	ゲーテ・インスティテュートによるドイツ語検定試験あるいはオーストリア政府公認の ÖSD（ドイツ語能力検定試験）で B2 以上
ロシア語	ロシア連邦教育科学省認定のロシア語検定試験（TPKI：テ・エル・カ・イ）で B2 以上
イタリア語	CILS（チルス）、CELI（チェリ）、PLIDA（プリーダ）、IT のいずれかで B2 以上
スペイン語	セルバンテス文化センターが行う DELE（外国語としてのスペイン語検定）で B2 以上

(3) 第1次試験

以下のように要件が緩和されます。

	通常	要件の緩和が認められた場合
筆記試験 (一般外国語)	一般外国語として仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮・日本語のうち1カ国語選択	免除(当日は専門科目からの受験となります)

当日の試験時間割は以下のとおり専門科目からとなります。

一般外国語	専門科目
免除	13:00~14:30

9) キャンパスマップ



2025年度 博士後期課程入試 出願チェック票

※大学使用欄

出願状況について、以下を確認したうえで、太線枠内(√欄)に記入/チェック「√」してください。

カナ氏名	電話番号	志望コース	※以下、大学使用欄		
			対応	対応	
チェック項目	確認項目(詳細については必ず入学試験要項を確認してください)		√欄	日付	日付
志願者情報の登録	指定 URL の Web フォームから登録を済ませている。				
出願書類の封入順序	封筒に封入する際、書類が入学試験要項 P.6-7「(3) 出願書類一覧」の順に並んでいる。				
入学検定料の納入	コンビニエンスストアもしくはクレジットカードにて納入を済ませている。				
入学志願票	所定書式で作成している(学歴も、小学校以降を記入している)。				
	志望コース名、希望指導教員名を記入している。				
	入学試験要項 P.15 の記載を確認して、一般外国語を正しく選択して記入している (中等教育(中学・高校)が日本の教育課程の場合は A 区分、それ以外は B 区分になります)。				
	入学検定料収納証明書を貼付もしくは添付している (免除の場合は、免除に関する補足書類を添付し、√欄には「免除」と記入してください)。				
	写真票貼付欄に鮮明なカラー写真(裏面に氏名)を貼り、入試年度・入試区分・カナ氏名を記入している。				
大学院修士課程(博士前期課程) ・修了(見込)証明書 ・成績証明書 学部(学士) ・成績証明書	文学研究科修了(見込)者である(この場合は、証明書に関する√欄に「√」と記入してください)。				
	入学志願票に記載した大学学部以上のすべての機関・期間の証明書の原本を用意している(コピーは不可) (注意: 大学学部以上の学歴で、証明書の提出が出来ない場合(日本語学校等)は、学歴欄に記入しないこと)。				
	留学し単位認定を行った場合、その間の留学先機関の成績証明書をすべて用意している (留学をしていない場合、単位認定をしていない場合は√欄に「一」と記入してください)。				
	編入・転部等をした場合、それ以前の成績証明書を用意している (編入・転部等をしていない場合は√欄に「一」と記入してください)。				
	日本語または英語以外で作成された場合、日本語または英語による翻訳およびその翻訳公証書を添付している(日本語または英語の証明書を提出する場合は、√欄に「一」と記入してください)。				
	中国の大学・大学院を卒業した場合は、右記の確認項目も必ず確認してください(中国以外の大学の方は√欄に「一」を記入してください)。	中国の大学・大学院を卒業した場合	CHSI (CSSD) を通じて、「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」および「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」をメールにて文学研究科に送付済みである。 卒業(修了)証明書・成績証明書に加えて、 学位取得証明書 も用意している。 卒業証明書、学位取得証明書に 証明書番号 の記載があることを確認している。		
中国の大学院を修了見込の場合		修了見込証明書・成績証明書に加えて、CHSI (CSSD) を通じて、「Online Verification Report of Student Record」をメールにて文学研究科に送付済みである。			
修士論文等	所定書式の表紙を利用して、必要事項を記入している。				
	文学研究科修了者(修士課程の所属コースと、今回希望するコースが同じ)である (この場合は、修士論文等に関する√欄すべてに「√」と記入してください)。				
	その他、入学試験要項 P.11 に記載された注意事項を確認して書類を用意している。				
	修士論文、現段階の修士論文、出願コースの分野に係る修士論文に準ずる論文のいずれかを用意している。				
	修士論文データを PDF ファイルに変換し、P.4-5 に記載された方法にもとづき、提出している (提出期限がまだ先の方は√欄に提出予定日を記入してください)。				
研究計画書	所定書式の表紙を利用して、必要事項を記入している。				
	入学試験要項 P.11 に記載された要件にもとづき本文を作成している。 研究計画書データを PDF ファイルに変換し、P.4-5 に記載された方法にもとづき、提出している (提出期限がまだ先の方は√欄に提出予定日を記入してください)。				
履歴書・研究業績	所定書式を利用して作成している。				
提出書類返還依頼書	返還を希望する書類(再発行ができない書類)がある場合、所定書式を利用して作成している (返還を希望する書類がない場合は√欄に「一」と記入してください)。				
受験票送付用封筒	長形 3 号の封筒で作成している(国外出願者は不要のため√欄に「国外」と記入してください)。				
	封筒に宛名、郵便番号、住所を記入している(国外出願者は不要のため√欄に「国外」と記入してください)。				

入学試験要項 P.1 の出願資格②に該当する場合は、以下も確認してください。

日本語能力試験もしくは日本留学試験の証明書・スコアカードのコピー	入学試験要項 P.12 に記載された注意事項を確認して書類を用意している。			
留学にかかる経費負担計画書	所定書式を利用して作成している。			
パスポートのコピー	有効期限内のものを提出している。			
在留カードのコピーまたは住民票の写し	日本国籍以外の 国内出願者 である場合、有効期限内のコピー(在留カードの場合は 両面)または写しを提出している(国外出願者は不要のため√欄に「国外」と記入してください)。			

やむを得ず提出できない書類がある場合は、以下に書類名、理由、提出予定日を明記してください。ただし、その理由が認められるとは限りません。

後日提出となる場合も**事務所への直接提出(持ち込み)は一切認めません**。必ず郵送(簡易書留・速達)もしくは国際郵便にて送付してください。

不足書類名	理由	提出予定日	※大学使用欄		
			対応	確認	解消
				電・メ	

以下、大学使用欄

返還依頼書類名	理由	可否	対応	対応日